

インプラント治療について

インプラント治療は人工歯根療法ともいわれ、失った歯に代わって金属（チタン）を顎の骨に埋入する治療法をいいます。

治療を受ける前は？

口腔内検査、診断をします。

インプラント治療は、顎提の吸収や顎骨の解剖学的形態によって適応できない場合があります。

全身状態が良好であること。

歯ブラシが上手であり、お口の中が清潔であることが重要です。

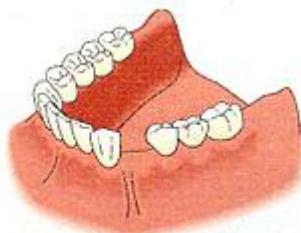
虫歯や歯周病（歯槽膿漏）がある場合は？

術後感染の危険（インプラント周囲炎）があるので歯周病の治療を優先します。

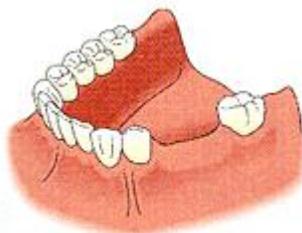
検査、診断について

当医院ではレントゲン写真だけでなく、コンピューター上で3次元的に再現することができますのでCT撮影を受けることが好ましいといえます。（CT撮影は大学病院に依頼しております）

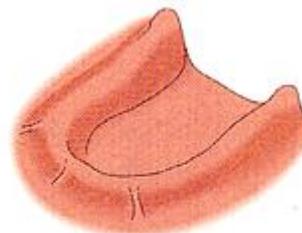
失われた歯の数、インプラントを埋め込む骨の硬さ、大きさ、位置はり、治療法には様々な選択肢があります。歯にかかる力の方向や強さはもちろん患者さんに無理のない衛生管理などを含め総合的に検討した上で、治療計画が立てられます。



歯を1本失った場合



歯を何本か失った場合



歯を全部失った場合

実際の手術は？

当医院では局所麻酔下にて行います。時間は症例により異なりますが1～2時間程度です。全身麻酔を希望される方は大学病院を紹介します。

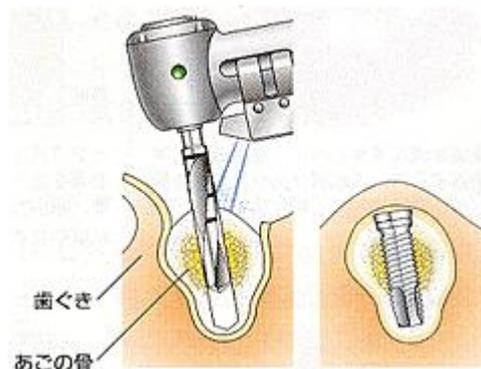
ここでご紹介する治療法は「2回法」と呼ばれる方法です。また、1回の手術で必要な手順まで進める「1回法」や、数時間～数日で人工の歯を装着する「即時負荷」といった治療法も開発されています。

いずれの治療法も全ての患者さんの、全ての治療箇所に適用できる方法ではないので、納得の出来る説明の得られる医師の下で治療を始められることをお勧めします。

1次手術

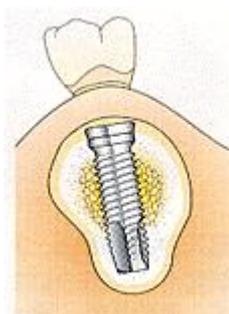
歯ぐきを切開し、あごの骨にドリルで穴を彫りインプラント体を埋め込みます。

縫合後に止血確認して終了です。



後日消毒、経過観察で通院し、縫合糸は1週間後位で除去します。

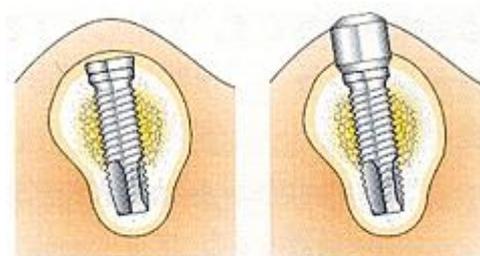
一次手術後、3～6ヶ月の治療期間をおくことで、インプラントと骨が強い力で合致します。この間に、仮歯を使用できる場合があります。



仮歯を使用する例

2次手術

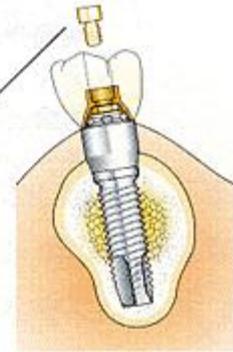
歯ぐきを開いて人工の歯を取り付けを行います。この状態で、歯ぐきが治るまで1～6週間おきます。



人工歯の装着

歯ぐきが治った時 でのり、人工の歯を けます。 や形などは患者さんに合わせて し、インプラントに り けます。

スクリューで固定します。この他、人工の歯をセメントにより固定する方法もあります。



治療後

ケ ごとに経過観察が必要です。

つめものやか ものとい、根までが人工 です。入れて治療終了ではありません。インプラントを 用しても むことを り す ちにかみ合わ が し、一箇所に力が 中して歯が したりすることもあります。またインプラント周囲炎を けるため歯 の や歯 き方法を しします。

インプラントは の 歯ともいわれ、入れ歯にかわる しい歯として され、現 中の くの人々に をいただいている治療法です。 しくお きになりたい場合は なくお し出ください。